

かすがい

～ 迎春 ～

2012年 新年号



「辰」～野本敏春～

～目次～

■新年のごあいさつ

酒井忠男 支部長
 鷺澤正一 長野市長
 高橋伸治 長野市建設部建築指導課課長
 小林健吾 長野地方事務所建築課課長

…2～4P

■支部活動

名刺交歓会 ……5P
 創立記念祝賀懇親会、
 技術講習会、商品説明会 ……6～7P

■支部日誌、編集後記 ……8P

発行

社団法人長野県建築士事務所協会 長野支部
 長野市緑町1605-14 ダイヤモンドビル9F
 TEL/267-5055・267-5066 FAX/225-9088

編集 情報委員会

あけまして
おめでとう
ございます

新春のごあいさつ



〔寄稿者〕

長野県建築士事務所協会長野支部	支部長	酒井忠男
長野市	市長	鷺澤正一
長野市建設部建築指導課	課長	高橋伸治
長野県長野地方事務所建築課	課長	小林健吾



新年のごあいさつ

(社)長野県建築士事務所協会
長野支部

支部長 酒井 忠男

新年あけましておめでとうございます。

(社)長野県建築士事務所協会長野支部会員の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。平素は当支部の事業活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は3.11「東日本大震災」「福島第1原発事故」と、信じ難い大災害にみまわれました。長野県においても栄村が「長野県北部地震」の発生で大きな被害を受けました。日本国中なんとも辛い1年でございました。災害を受けられた皆様には心よりお見舞いを申し上げる次第でございます。また栄村災害時には「応急危険度判定」「罹災証明調査」と協力をいただきました会員のみなさまには心より感謝を申し上げます。

この度の災害を教訓に、我々の地域においての「安心・安全」な街づくりとは「安心・安全」な建物づくりとはなにか、建築の設計・監理を業務とする我々は、真摯な気持ちで受け止め、家を失った被災者の辛さを想い、初心に立ち返り「安心・安全」を提供ができる様な、取り組みが必要と考えております。

今年度、長野県建築士事務所協会長野支部は

60周年を、また支部賛助会は30周年の節目の年となりました、親睦を深めさらに共に発展していこうとの趣旨で「記念祝賀パーティー」を昨年11月に開催いたしました。60年間という長い期間長野支部を支えて頂きました皆様方に心より感謝すると共に、諸先輩方の努力に敬意を表したいと思います。現在当支部を任されている我々会員は時代の変化に対応しながらさらに年を重ね次の世代へと引き継いでいかなければならないと改めて感じているところでございます。会員事務所数は僅かずつ減少しています、会員増強に向けてご協力をお願い致します。

平成24年新春、大災害後の復旧・復興になかなか目途の立たない苦しいスタートとなっておりますが、会員の交流を深め、共に知恵を出し合い、意義のある明るい建築士事務所協会長野支部にしていきたいと思っております。

本年が会員諸氏にとりましてよりよい年になりますようお願い申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。





新年のごあいさつ

長野市長

鷲澤 正一

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日ごろは市政に対しご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、東日本大震災、長野県栄村を中心とする地震をはじめ、日本各地で自然災害が相次いだ年でありました。被災された方々や避難されている方々が、一日も早く生活を再建し、将来の展望を開けるよう、本市としても引き続き市民の皆様とともに被災地支援・避難者支援に取り組んでまいります。

早いもので、私が市長に就任して三期目の折り返し点が過ぎました。混迷する社会経済情勢のいま、私は、これからの長野市の都市像をしっかりと描き、着実に歩を進めていくことが肝要であると考えております。今年、第四次長野市総合計画後期基本計画、第二次環境基本計画、産業振興ビジョン後期振興計画など、将来の都市像を描いた根幹的な計画がスタートする年です。これからも、皆さまと共に知恵を出し、汗をかきながら「人と地域がきらめくまち“ながの”」の実現に向けて力を尽くしてまいります。

結びに、皆様お一人おひとりのご多幸とご健康を心からお祈り申し上げ、謹んで年頭のごあいさつといたします。



新年のごあいさつ

長野市建設部
建築指導課長

高橋 伸治

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げますとともに、本市の建築行政に格別なご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年3月に発生しました東日本大震災及び長野県栄村を中心とする地震により被災された多くの皆様には、心からお見舞いを申し上げ、一日も早い復興をご祈念申し上げます。

さて、景気動向指標の一つであります「新設住宅着工戸数」ですが、本市の平成22年度については、前年度より9.1%増加し、「リーマン・ショック」以降の景気回復に、明るい兆しが見えてまいりました。しかし、今年度これまでの累計戸数について、平成22年度と比較しますと残念ながらやや下回っております。今後につきましては、厳しい雇用・所得環境、不透明な景気の先行き等から、慎重に見極めていく必要があると考えております。

本市では、現在「長野市耐震改修促進計画」に基づき、住宅、特定建築物等の耐震化を促進しております。この計画では、それぞれ平成27年度までに耐震化率90%以上とする目標となっており、建物所有者の皆様には耐震診断や耐震改修工事の実施をお願いしているところです。

東日本大震災による甚大な被害を教訓に、改めて災害に強い街づくりに向けて、今後ともご協力をお願いいたします。

本年が皆様にとって良い年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



新年のごあいさつ

長野地方事務所建築課長

小林 健吾

新年明けましておめでとうございます。

長野県建築士事務所協会長野支部の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃は、県の建築住宅行政にご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災による未曾有の大災害や県北部の地震被害の復旧に向けて取り組んだ一年でありました。国内外の多くの方々から寄せられた支援の輪が、昨年12月に発表された「絆」の一文字に凝縮されていると感じたのは、私だけではないと思います。改めて、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、県では、厳しい経済状況が続く中で、切れ目のない予算編成を行い経済対策に取り組んでまいりました。本年も引き続き厳しい財政状況が見込まれますが、安全・安心な社会づく

りの実現に向けて住宅・建築物の耐震診断・耐震改修を進めるとともに、自然と人が共生する豊かな環境づくりに向けて環境や地域の特性を踏まえた良質な木造住宅の整備を促進し、地球温暖化防止への寄与と住宅産業の活性化を図ることを目的とした信州型エコ住宅「ふるさと信州・環の住まい」の普及を図るなど、環境と共生する住まいづくりに取り組んでまいります。

また、本年度に入り世界的な経済不安などの影響等から、昨年9月から3ヶ月連続で前年同月比を下回っており、今後の動向を注視するとともに、各種の経済対策の効果に期待をしているところであります。

結びに、長野県建築士事務所協会長野支部の益々のご繁栄と、本年が会員の皆様にとりまして良い年となりますことをご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



Q-CAT 《キュー・キャット》システム

**外壁タイル 弾性接着剤貼
安心の13年間長期保証制度**



お問い合わせは

株式会社 小林タイル

〒381-0038 長野市東和田 799-1

TEL 026-243-2314 FAX 026-243-2556

支部活動

第9回新春名刺交歓会

新年の門出祝う「明るい1年に」

長野建築センター（酒井忠男会長）が主催する第9回新春名刺交歓会が1月13日に長野市内で開かれました。共催する当支部、県建築物防災協会長野支部（林竹彦支部長）、長野市設計協会（竹村利之会長）、長野設計協同組合（池田修平理事長）の関係者や会員など約170人が参加し、新年のあいさつを交わしました。



酒井支部長は、今年度に創立60周年、賛助会が30周年の節目を迎えたことに触れ、「長い



今後の抱負を述べる
酒井会長



あいさつする
倉澤建設部長

間支えてくださった会員の皆さまや先輩方に敬意を表する」と謝辞を述べました。その上で、「安心・安全な建物づくりに貢献し明るい一年にしたい」と新年の抱負を述べました。

来賓の倉澤孝長野市建設部長は、「住宅リフォーム補助事業を新年度も継続し、市内の建設業、地域の活性化につなげたい」と同事業の効果に期待を寄せました。

来賓あいさつの後は、善光寺木遣り保存会が木遣りを披露。新年の門出に彩りを添えました。

日本の文化伝統之美を
造り伝える



(東京駅銅板工事施工)

株式会社 二見屋

代表取締役 水沢仁亮

〒381-2214 長野市稲里町田牧190

TEL 026-284-3113

FAX 026-284-2007

支部活動

創立60周年、賛助会創立30周年

節目の年を盛大に祝う

先輩方に敬意を表し
活動を次世代へ引き継ぐ

昨年11月18日、長野市のメルパルクNAGANOで支部創立60周年、賛助会創立30周年の記念祝賀懇親会が開かれました。当日は38人が参加し、団体の節目を盛大に祝いました。



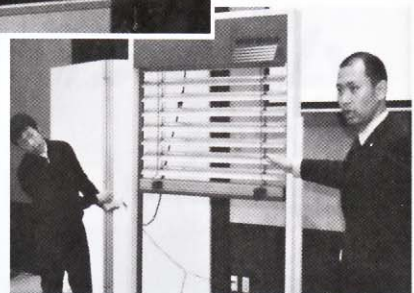
今までの活動を
振り返り
今後の発展を誓う
酒井支部長



記念祝賀懇親会の冒頭にあいさつした酒井忠男支部長は「今年度は節目の年。当支部の会員と賛助会員が親睦を深め、今後の双方の会の発展につなげたい」とさらなる飛躍を誓いました。

技術講習会と商品説明会

祝賀懇親会に先立ち行われた技術講習会では、「信州の建築におけるエコマテリアル～環境緑化空間演出～」をテーマに、物林(株)が「屋上・壁面緑化」、越井木材工業(株)が「長野県産材の新しい利用方法」、出光アグリ(株)が芝生に替わる緑化植物「クラピア」についてそれぞれ技術発表をしました。緑化による環境改善や、県産材利用の拡大を呼び掛けました。



また、賛助会員による商品説明会では、(株)小林タイルと(株)LIXILが「Q-CAT外装タイル接着剤張りの保証制度」とエーデルジャパン(株)と日本オスモ(株)が外付けブラインド「ヴァレーマ」について説明しました。参加者は、接着剤張りのメリットやブラインドの材質や施工方法などの説明に熱心に耳を傾けていました。

商品説明会で紹介された各提案商品

外装タイルと有機系接着剤の組み合わせ品質認定制度

『Q-CAT』(キューキャット) (株)小林タイル
(株)LIXIL

概要

外装接着剤張りの施工品質を確保するためには、適切なタイルと接着剤の選定、タイルと接着剤の適切な組合せ、正しい施工方法の選定が重要です。Q-CATは、「タイル基準」「接着剤基準」「組合せ基準」を定めて認定する制度で、これにより、外装接着剤張りの適切な材料の選定と施工方法の普及を促進します。

Q-CATでは、タイルも接着剤も認定品を使用し、指定された組合せで使用していただく必要があります。

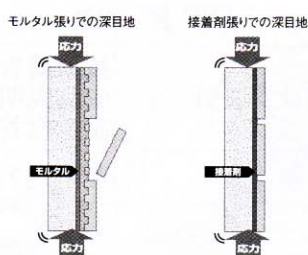
<1>高意匠のタイル張りを可能にします。

目地詰めを行わない「深目地」や「細目地」仕上げは、従来のモルタル施工では危険とされています。また、表面テクスチャーが複雑なタイルも目地詰めが難しいことから、外装への使用が避けられてきました。こうしたタイル特有の凹凸感、陰影感の演出効果を生かした使い方が、接着剤張りでは可能になります。

<2>安全・安心な工法です。

剥離の危険性を軽減します。

コンクリートは自重によるクリープや乾燥収縮等により、収縮します。弾性接着剤は、これらの構造躯体からくる変形応力を吸収し、タイル剥離の危険性を軽減します。これにより、従来のモルタル張りでは危険とされていた深目地施工が可能になります。



<3>環境に配慮した工法です。

張付け材料およびタイル製造時の

CO₂排出量を軽減します。

接着剤張りはモルタルで施工する場合に比べて張付け材料及びタイル製造時のCO₂排出量を軽減できます。

またQ-CAT認定のタイルは全てグリーン購入法に適合しています。

外付けブラインド

『warema』(ヴァレーマ) エーデルジャパン(株)
日本オスモ(株)

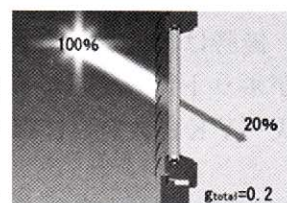


ヴァレーマはブラインドです。スラットを降ろし、光を調整しても通風を止めることはありません。

日影の中で自然の風を感じる心地よさ。ヴァレーマでしか得られない快適さです。

高い日射遮蔽性能

外付けブラインドヴァレーマは優れた遮熱性能を持つ理想的な日よけシステムです。日射による室温上昇を抑えることで冷房負荷を下げ、エネルギー消費を減らす事ができます。寒い期間は日射を積極的に取り込み暖房を補助します。外付けブラインドは1年を通じて冷房・暖房に消費されるエネルギーを減らし、建物のランニングコストを下げることができます。



大きな開口部にも対応

外付けブラインドヴァレーマは最大幅5m、最大高さ5m（最大15㎡）のサイズに対応します。アルミ製のスラットは非常に丈夫で、しかも軽いため大きなサイズが製作可能です。景色の良い場所に大きな窓を採用する場合に最適です。景色を楽しみながら暑い陽ざしを室外で遮蔽できます。



豊富な部品で様々な取り付け方法

あらゆる外壁、窓に外付けブラインドを取り付けることができるように各種ガイドレール、ガイドレール取り付けブラケットを用意しています。表面は優れた耐腐食性能を持つパウダー塗装が施されています。



支部活動

県防災協会長野支部と合同開催

秋のゴルフコンペ



主な成績は次のとおりです。

優勝は清水一男氏! (環境設備設計事務所)

10月27日、長野県建築物防災協会長野支部(林竹彦支部長)と合同で、第51回秋のゴルフコンペを上水内郡信濃町の信濃ゴルフ倶楽部で開催しました。競技は18ホールの新ペリア方式で行われ、参加者による楽しくも熱いプレーが展開されました。

優勝は、清水一男氏(環境設備設計事務所)がネット73.8(グロス99)、準優勝は松本賢二氏(YKKAP)に輝きました。

- ◇優勝 清水一男(環境設備設計事務所)
◇準優勝 松本賢二(YKKAP)
◇3位 高橋 守(北信理化)
◇4位 斉藤昌彦(角藤東北信支店)
◇5位 大日方誠(本久)
◇6位 北村知雄(ワールド建築事務所)
◇7位 小林 昇(千広建設)
◇8位 出川 誠(D.プラン)
◇9位 松本茂男(松本設計)
◇10位 西沢嘉登(エイブルメンテナンス)
◇11位 斉藤 浄(鹿熊組一級建築士事務所)

支部活動

支部日誌

Table with 4 columns: 日時, 内容, 場所, 出席者. Rows include dates from H23年10月13日 to H24年1月13日 and activities like 合同三役会, 公開建築パトロール, etc.

編集後記

当支部は今年度創立60周年、賛助会は創立30周年を迎えました。長きにわたる景気低迷を受け、建築業界は厳しい環境に置かれていますが、知恵を出し合い活路を開き、次世代へ支部活動を価値あるものとして引き継ぎたいものです。また、この会報誌が節目の年の記録として残れば幸いです。...